

科目名	仕事と人生（職業と人生）			科目コード	3010	
英文名	Work & Life			科目区分	【共通教養科目】 基礎科目（必修）	
担当教員	赤羽根 和恵		教員コード	152	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	火曜日・4時限	授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input checked="" type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	人生において働く意味を考え、充実した人生を送るために、大学生活をどう送るか、将来の職業にどう繋げていくかキャリアについて考える。女性が仕事をする上で必要な知識、ワーク・ライフ・バランスなど今日的な課題についての理解も深め、ライフプランを作成する。					
授業の狙い・到達目標	働く意味について考え、揺るぎない職業観を持てるようにする。 ライフプランを作成して、大学の学びと将来の職業との接続について考える。					
授業内容のレベル・関連科目	大学での学びを将来に生かし適職につくために、自己研鑽が必要である。「就職対策演習Ⅰ」でさらに自己理解を深め、「就職対策演習Ⅱ」で具体的な就職活動を行っていく事が望ましい。					
授業外学習（予習・復習）	事前学習：日常で出会う働いている人の仕事内容や態度を観察するニュースを見て時事問題について理解しておく。 事後学習：授業で学んだことを復習して、次の授業に備える。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	毎回、資料を配布する。					
参考書・その他教材	講義内で適宜紹介をする。					
課題に対するフィードバック	提出されたレポートは、良い点や注意点などについて、若干のコメントを記入して返却をする。最終時に振り返りの時間を設け、全体に対するフィードバックを行う。					
成績評価方法	授業参加度(30%)、中間レポートを(30%)、期末レポートを(40%)として評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	グループワークを実施するため、事前学習をして自分の意見を述べるようにする。準備を必要とする課題が多いので積極的に取り組み、遅刻・欠席をせずに参加をすること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし。					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける(mail to:akabane@aikoku-u.ac.jp) 件名に科目名、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること					

授業スケジュール

仕事と人生（職業と人生）

1回	学習内容 予習 復習	働く意味について考える シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておく。 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深める。
2回	学習内容 予習 復習	社会構造の変化と若者の就労① 社会構造の変化について調べておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
3回	学習内容 予習 復習	社会構造の変化と若者の就労② 雇用統計を見ておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
4回	学習内容 予習 復習	産業分類・職業分類 興味のある産業、企業、職業などを書き出しておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
5回	学習内容 予習 復習	大学生生活の過ごし方 これまでの授業を振り返り、大学生活に必要なことを考えておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
6回	学習内容 予習 復習	将来の仕事に必要な資格 将来の仕事について考え、その職業に就く場合に必要資格を調べておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
7回	学習内容 予習 復習	女性のキャリア形成① キャリアについて調べておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
8回	学習内容 予習 復習	女性のキャリア形成② 男性と女性のキャリアの共通すること、異なることについて考えておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
9回	学習内容 予習 復習	就労に関する法律 働くことに関する法律を調べておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
10回	学習内容 予習 復習	女性の働き方とワーク・ライフ・バランス ワーク・ライフ・バランスについて調べておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
11回	学習内容 予習 復習	ライフプラン① ライフイベントについて調べておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
12回	学習内容 予習 復習	ライフプラン②グループワーク ライフプランの続きを作成してくる。 ライフプランを完成させ、作成する上で考えたことをまとめてレポートを作成して提出する。
13回	学習内容 予習 復習	自己理解・他者理解 自分の得意な事、苦手な事を書き出してくる。 授業内容について振り返り、理解を深める。
14回	学習内容 予習 復習	大学生生活の目標設定・発表 「大学生生活の目標と計画」の発表を行う準備をしてくる。 発表後の気付きを加えて、レポートにまとめ提出すること。
15回	学習内容 予習 復習	授業の振り返り これまでの授業を振り返り、レジュメを見返しておく。 全15回の授業を振り返り、仕事と人生についての考えをまとめる。

科目名	ホスピタリティ論			科目コード	3020		
英文名	Management Hospitality			科目区分	【共通科目】 キャリア支援科目(選択必修科目)		
担当教員	羽田 利久		教員コード	155	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	金曜日・2時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探索する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	「ホスピタリティ」とは何か、「サービス」や「おもてなし」とはどう異なるのか。その違いを理解する。また日本のホスピタリティ産業や施設についての知識の取得を目指す。						
授業の狙い・到達目標	科目名にある「ホスピタリティ」は、なぜ日本語ではないのか。それは日本語では相応しい表現がないことが理由として考えられる。ホスピタリティとサービスの概念について理解することを目指す。また、日本に存在するホスピタリティ産業全般についての理解を目指す。						
授業内容のレベル・関連科目	出てくる用語については極力理解しやすく、平易な表現を用いるように努める。ホテル等のホスピタリティ関連の施設やエピソードなども踏まえて話をしていく予定。地域研究IVでは観光学全般について学ぶため、併せての受講を推奨する。						
授業外学習(予習・復習)	授業計画を確認して、参考になりそうな事象について事前に確認しておくことが予習に繋がる。授業時に配布する資料や自身で作成したノートを元に、しっかりと復習をおこなうこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	教科書は使用せず、その都度レジュメを配布する。						
参考書・その他教材	徳江順一郎(2018)『ホスピタリティ・マネジメント(第2版)』同文館出版 近藤隆雄(1999)『サービス・マーケティング』生産性出版						
課題に対するフィードバック	授業ごとに小テストを課す。そのフィードバックは、随時行う。その他疑問点があれば、次回以降の授業で回答する。						
成績評価方法	期末試験(70%)、授業への貢献度(30%)により、総合的に評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどの位到達したかを、本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	日頃から授業に関連した話題に触れ、意識的に知識の取得を目指すこと。復習を重点的におこない、授業内容の理解を深めること。授業計画は社会情勢や学生の理解度等を勘案して、変更する可能性がある。						
科目に関連した教員の実務経験	旅行会社社員として顧客対応業務ならびに従業員管理を担当(経験)(第10回～第14回は実務経験を踏まえた講義である)						
担当教員への連絡方法	授業前後での質問、ならびにメールでも受け付ける。連絡先は第一回の授業で伝える。						

授業スケジュール

ホスピタリティ論

1回	学習内容 予習 復習	ガイダンス、本講義の目的と内容、授業の進め方について 授業計画を熟読して、授業の概要について理解しておくこと。 授業の目的、内容について再度確認をし、理解を深めること。
2回	学習内容 予習 復習	ホスピタリティについての考え方の整理 ホスピタリティとはどういうことを言うのか、自分が考えることを書き出しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
3回	学習内容 予習 復習	ホスピタリティの起源や歴史 ホスピタリティの語源について調べておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
4回	学習内容 予習 復習	サービスの概念について サービスとは何を指すのか、自分が考えることを書き出しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
5回	学習内容 予習 復習	サービスの特性について サービスはどのような性質を持つものなのか、自分が考えることを書き出しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
6回	学習内容 予習 復習	サービスマネジメント(1) マーケティングの観点から 第5回の授業を元に、サービスを構成する要素について検討しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
7回	学習内容 予習 復習	サービスマネジメント(2) 仕組みや組織の観点から サービスの現場において、どのような組織や仕組みが成り立っているのかを調べておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
8回	学習内容 予習 復習	関係性マネジメント マニュアルに頼らないサービスとはどのようなものがあるか、考えてくること。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
9回	学習内容 予習 復習	トライアドモデルとホスピタリティマネジメント ホスト・ゲスト・施設の3つの要素の繋がりについてホスピタリティの観点から検討しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
10回	学習内容 予習 復習	ホスピタリティ関連産業(1) 宿泊産業 宿泊施設にはどのようなジャンルがあり、違いはどこにあるかを把握しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
11回	学習内容 予習 復習	ホスピタリティ関連産業(2) 旅行業 旅行業の種類と提供するものの違いについて把握しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
12回	学習内容 予習 復習	ホスピタリティ関連産業(3) 運輸業 運輸業にはどのようなものがあるか、把握しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
13回	学習内容 予習 復習	ホスピタリティ関連産業(4) 飲食業 飲食業の種類について、自分なりに分類しておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
14回	学習内容 予習 復習	ホスピタリティ関連産業(5) その他 ホスピタリティ産業だと思ふ職種について、自分でまとめておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
15回	学習内容 予習 復習	これまでの授業のまとめ これまでの授業で配布したレジュメを振り返り、不明点や疑問点を明確にしておくこと。 授業内容全般を振り返り、ホスピタリティについての理解を深めること。

科目名	就職対策演習 I			科目コード	3030		
英文名	Employability Skills Training I			科目区分	【共通科目】 キャリア支援科目(選択必修科目)		
担当教員	赤羽根 和恵		教員コード	152		単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input checked="" type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	キャリアとは人生そのものであり、大学での学び、アルバイトの経験、趣味や日常生活など経験をしたすべてのことを指す。かけがえのない人生を主体的に生きるために、生涯を通じたキャリア発達ができる力を身に付けることを目的とする。						
授業の狙い・到達目標	自己理解と他者理解を深める。産業・業態・職種について知り、自分の適性や職業について考えることができる。就職活動の準備を積極的に取組めるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	大学での学びを将来に生かし適職につくために、自己研鑽が必要である。「就職対策演習Ⅱ」で具体的な就職活動を理解して、早期より準備を行っていく事が望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	事前学習: 日常で出会う働いている人の仕事内容や態度を観察するニュースを見て時事問題について理解しておく。 事後学習: 授業で学んだことを復習して、次回の授業に備える。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	毎回、資料を配布する。						
参考書・その他教材	講義内で適宜紹介をする。						
課題に対するフィードバック	提出されたレポートは、良い点や注意点などについて、若干のコメントを記入して返却をする。最終時に振り返りの時間を設け、全体に対するフィードバックを行う。						
成績評価方法	授業参加度(30%)、中間レポートを(30%)、期末レポートを(40%)として評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	グループワークを実施するため、事前学習をして自分の意見を述べるようにする。準備を必要とする課題が多いので積極的に取り組み、遅刻・欠席をせずに参加をすること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし。						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける(mail to: akabane@aikoku-u.ac.jp) 件名に科目名、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること						

授業スケジュール

就職対策演習 I

1回	学習内容 予習 復習	キャリアに関する考え方(キャリア理論)、グループワーク シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておく。 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深める。
2回	学習内容 予習 復習	ライフステージ、ライフロール、ライフ・キャリア・レインボー ライフステージについて調べておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
3回	学習内容 予習 復習	過去の自分を振り返る(ライフラインの作成)、グループワーク 子どもの頃からの思い出を振り返りメモを作成しておく。 授業内に記入シートが完成しなかった場合は、加筆して完成をしておく。
4回	学習内容 予習 復習	現在の自分と向き合う(エゴグラム)、グループワーク これまでの授業内容を振り返っておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
5回	学習内容 予習 復習	自分の強みを知る(SWOT分析)、現在と将来のライフロールの作成 自分の得意な事と苦手な事を考えてくる。 授業内に記入シートが完成しなかった場合は、加筆して完成をして提出をすること。
6回	学習内容 予習 復習	自己理解と他者理解のためのグループディスカッション・発表 クラスメートへの自己紹介を考えてくること。 授業内容について振り返り、理解を深める。
7回	学習内容 予習 復習	学生生活の充実(目標設定表の作成、PDCAサイクル) 大学時代にやりたいことを書き出してくる。 授業内容について振り返り、理解を深める。
8回	学習内容 予習 復習	社会人基礎力の理解と測定 仕事をする上で必要な能力について考えてくる。 授業内容について振り返り、理解を深める。
9回	学習内容 予習 復習	社会人基礎力を高めるためのグループワーク 前回の社会人基礎力の中で自分に備わっている力と足りない力について見直しておく。 授業内容について振り返り、理解を深める。
10回	学習内容 予習 復習	社会人に求められるコミュニケーション能力、グループワーク コミュニケーション能力について調べておく。 授業内容について振り返り、レポートにまとめて提出をする。
11回	学習内容 予習 復習	多様な社会への対応(多様な働き方と人材への理解) 雇用の問題について調べてくる。 授業内容について振り返り、理解を深める。
12回	学習内容 予習 復習	職業理解(業種・業態・職種、ホランドの六角形理論) 将来就きたい職業を具体的に言えるように調べてくる。 授業内容について振り返り、理解を深める。
13回	学習内容 予習 復習	就職活動の全体像とスケジュール 大学生の就職活動に必要なことについて調べてくる。 授業内容について振り返り、理解を深める。
14回	学習内容 予習 復習	ワーク・ライフ・バランスとキャリア(キャリアプランの作成) ワーク・ライフ・バランスについて調べてくる。 授業内に記入シートが完成しなかった場合は、加筆して完成をしておく。
15回	学習内容 予習 復習	キャリアプランの発表・授業の振り返り キャリアプランの発表の準備をしてくること。 全15回の授業を振り返り、就職活動についての課題をとりまとめる。

科目名	就職対策演習Ⅱ			科目コード	3040		
英文名	Employability Skills Training Ⅱ			科目区分	【共通科目】 キャリア支援科目(選択必修科目)		
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・2時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	日本における就職活動の各段階に対応した実践的演習である。						
授業の狙い・到達目標	自分がどのように生きていきたいかを思慮し、自分のキャリア、将来の人生を設計する契機とする。 ”自己PR”と”志望動機”の考案を中心に、自分自身に対する哲学的な考察も深める。 大学に入学し通学する目的と意味を踏まえて卒業までの大学生活を点検する。						
授業内容のレベル・関連科目	就職活動の基礎、「就職対策演習Ⅰ」の履修を前提とする。						
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間		
使用教科書	岡茂信「就職活動がまるごと分かる本 内定獲得のメソッド いつどこで?なにをする? '22」マイナビ出版 ※毎年改訂出版されるシリーズであり、最新版を入手すること。						
参考書・その他教材	愛国学園大学 就職活動マニュアル 日本五大紙、特に日本経済新聞						
課題に対するフィードバック	各段階毎に成果物を点検、フィードバックを行う。						
成績評価方法	成果物(履歴書、ES等作成文書、口頭試問、各種面接など)(70%)、授業への貢献度(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	必要に応じて就職相談室を利用すること、あるいは就職委員会や学務課就職担当の支援を求めることを推奨する。						
科目に関連した教員の実務経験							
担当教員への連絡方法	本学 G Suite for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org						

授業スケジュール

就職対策演習Ⅱ

1回	学習内容	キャリア・ガイダンスーキャリアデザイン
	予習	現時点までのキャリア表現に向けての活動状況や成果を整理しておくこと。
	復習	キャリアを実現するための短期、中期、長期計画を立てること。
2回	学習内容	自己分析ー自己PR(第2回～第4回) ※以後PDCAにより改訂を繰り返す
	予習	「学業、ゼミ、研究室などで取り組んだ内容」を250字以内で作成する。
	復習	「学業、ゼミ、研究室などで取り組んだ内容」を授業内容を踏まえて改訂する。
3回	学習内容	自己分析ー自己PR(第2回～第4回)
	予習	「学生時代に最も打ち込んだこと」を400字以内で作成する。
	復習	「学生時代に最も打ち込んだこと」を授業内容を踏まえて改訂する。
4回	学習内容	自己分析ー自己PR(第2回～第4回)
	予習	「自己PR」を400字以内で作成する。
	復習	「自己PR」を授業内容を踏まえて改訂する。
5回	学習内容	進路研究調査ー業界・職種・企業研究／進学先研究(第5回～第7回)
	予習	指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。
	復習	「企業調査表」の作成を進める。
6回	学習内容	進路研究調査ー業界・職種・企業研究／進学先研究(第5回～第7回)
	予習	「企業調査表」の作成を進める。
	復習	「企業調査表」の作成を進める。
7回	学習内容	進路研究調査ー業界・職種・企業研究／進学先研究(第5回～第7回)
	予習	「志望動機」を400字以内で作成する。
	復習	「志望動機」を授業内容を踏まえて改訂する。
8回	学習内容	書類作成ー履歴書、エントリーシート、就活報告書や進学願書等の作成(第8回～第9回)
	予習	本学既定書式の履歴書を入手し、全項目を記入作成する。
	復習	履歴書を授業内容を踏まえて改訂する。
9回	学習内容	書類作成ー履歴書、エントリーシート、就活報告書や進学願書等の作成(第8回～第9回)
	予習	エントリーシートを作成する。
	復習	エントリーシートを授業内容を踏まえて改訂する。
10回	学習内容	ビジネスマナーー服装や敬語の使い方、メールの書き方など(第10回～第11回)
	予習	指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。
	復習	就職活動用の服装を点検すること、敬語の使い方を整理しておくこと。
11回	学習内容	ビジネスマナーー服装や敬語の使い方、メールの書き方など(第10回～第11回)
	予習	指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。
	復習	メールの書き方など定型的な文章等を整理しておくこと。
12回	学習内容	個人面接ー模擬個人面接、1分スピーチ(第12～第13回)
	予習	個人面接における想定問答を作成しておくこと。
	復習	模擬面接での回答を振り返り、次に同じ質問がされた場合に備えた改訂を行うこと。
13回	学習内容	個人面接ー模擬個人面接、1分スピーチ(第12～第13回)
	予習	自己紹介用の1分スピーチを考案し、時間計測も含め練習をしておくこと。
	復習	模擬面接での回答を振り返り、次に同じ質問がされた場合に備えた改訂を行うこと。
14回	学習内容	集団面接ー模擬集団面接、グループディスカッション(第14回～第15回)
	予習	集団面接、グループディスカッションにおける想定問答を作成しておくこと。
	復習	模擬面接での回答を振り返り、次に同じ質問がされた場合に備えた改訂を行うこと。
15回	学習内容	集団面接ー模擬集団面接、グループディスカッション(第14回～第15回)
	予習	集団面接、グループディスカッションにおける想定問答を作成しておくこと。
	復習	模擬面接での回答を振り返り、次に同じ質問がされた場合に備えた改訂を行うこと。